

第1回 再処理・リサイクル部会 夏期セミナー
テーマ：核燃料サイクルに関わる研究施設の現状について

1. 日時：2017年8月30日（水）－8月31日（木）の2日間

2. 場所：青森原燃テクノロジーセンター

<http://www.agtcinc.co.jp/facilities/trainingroom.html>

〒039-2664 青森県上北郡東北町字乙供 58 番地

TEL.0175-63-4680（代） FAX.0175-63-4681

3. プログラム

議長：野上 雅伸（近畿大学教授）

<1日目>

14:00-14:10 開会挨拶

14:10-14:35 1. 「東北大六ヶ所分室でのアクティビティ」

伊藤 辰也（東北大学）

14:35-14:50 討論（1）

14:50-15:15 2. 「次世代燃料サイクルに向けた開発」

高橋 優也（東芝）

15:15-15:30 討論（2）

15:30-15:45 休憩

15:45-16:10 3. 「JRC-Karlsruhe(旧欧州超ウラン元素研究所)での照射済燃料を用いた乾式試験」

村上 毅（電中研）

16:10-16:25 討論（3）

16:25-16:50 4. 「原科研 NUCEF における研究活動の概要」

津幡 靖宏（原子力機構）

16:50-17:05 討論（4）

17:05-17:30 5. 「高レベル放射性物質研究施設（CPF）の役割と今後の施設中長期計画」

野村 和則（原子力機構）

17:30-17:45 討論（5）

18:00-20:00 夕食・総合討論（1）

20:00-21:00 二次会・懇親会

<2日目>

9:00-9:25 6. 「再処理施設におけるサイバーセキュリティ対策」

岩本 友則（日本原燃）

9:25-9:40 討論（5）

9:40-10:05 7. 「重大事故等の影響評価の精度向上研究 放射線分解水素の爆発について」

石尾 貴宏（日本原燃）

10:05-10:20 討論（6）

10:20-10:30 休憩

10:30-11:00 総合討論（2）

午後： 日本原燃見学会（別紙参照、希望者）

4. 定員、参加費と交通

(1) 定員

- 会場の都合で 30 名程度といたします。
- 先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

(2) 参加費

- 参加費
一般 正会員/シルバー会員：3,000 円（不課税） 非会員：4,000 円（税込）
学生 無料
- 宿泊費 8,000 円（30 日夕食代および 31 日朝食代含む。税込）
※夕食代には懇親会参加費が含まれます。
- 昼食 500 円（31 日ツアー参加者のみ。税込）

(3) 交通

- 三沢空港。車 40 分。
- 七戸十和田駅。車 15 分。
- 八戸駅→三沢駅（青い森鉄道 570 円）。車 30 分。
- 八戸駅→乙供駅（青い森鉄道 920 円）。徒歩 20 分。
※日本原燃からの移動手段は参加人数、行き先に応じて決定します。

5. 参加申し込み及び問い合わせ

- 下記の項目を明記し、E-mail でお申し込みください。
 - ①氏名 ②所属 ③会員区分（正会員・学生会員・シルバー会員・非会員・学生非会員）・会員番号
 - ④連絡先 TEL・E-mail ⑤日本原燃サイト見学ツアー参加有無（参加の場合には、別添に記載してある情報も含めて締め切り日までに提供ください。）
- 締め切り 8月9日（水）
- 連絡先
岡村 信生
日本原子力研究開発機構
E-mail: okamura.nobuo@jaea.go.jp

6. 学生参加者への交通費補助

- 学生参加者にはセミナー参加にかかる交通費を補助することができます。交通費補助を希望する方は参加申し込み時にご連絡ください。
- 自家用車を利用した場合は、旅費を補助することはできません。
- 補助人数は 5～10 名程度、補助額は 1 名あたり 3 万円を上限とします。
（人数及び補助額は、応募者数等に応じて変更される可能性があります。）

7. CPD プログラムへの参加

日本原子力学会では、原子力に携わる技術者・研究者は、倫理にもとることなく知識、技能、能力を常に高めることにより、原子力の利用に関する社会からの付託に応えなければならないとの考えから、各個人の継続研鑽を奨励するために日本原子力学会教育委員推奨 CPD（Continuing Professional

Development) プログラムが推進されています。本セミナーは当プログラムの指定を受ける予定であり、学会員の方についてはセミナー終了後に「CPD 受講証明書」が発行されます。

8. 発表等の要領

- スライドはコンピュータからプロジェクタで投影します。

発表を円滑に進めるため、基本的に、ファイルを予め email 等で岡村宛てに送っていただき、事務局が用意する PC で投影します。

スライドは PowerPoint で作成してください。一般的なフォントを用いてください。

当日にデータを受け渡す場合には、USB スティックで行うこととなります。

また、御自分の PC を持ち込んで使用する場合にはその旨御連絡いただければ幸いです。

- 資料を配付します。

資料は発表者が人数分を用意してください（部数は後日連絡させていただきます）。

- フォーマットはフリーとします。

以上

日本原燃サイト見学ツアーについて

夏期セミナーの青森開催にあわせ、日本原燃(株)の施設を巡るツアーを開催いたします。六ヶ所原燃 PR センター、再処理工場、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、低レベル放射性廃棄物埋設センターを約 3 時間で見学するコースです。

核燃料サイクルの中核施設を是非この機会にご覧ください。

日本原燃見学ツアーへ参加を希望される方は、①氏名（フリガナも必須）、②性別、③血液型（分かる範囲で RH+/- の情報も）、④生年月日、⑤国籍及びパスポート No（外国人のみ）、⑥所属（会社名、学校名等）・役職（学生は学年）、⑦現住所（身分証明証と同一であること）、⑧電話番号の情報を身分証明証の PDF ファイル（運転免許証で住所変更がある場合は裏面も）と併せて事前登録のため、ご提出ください。なお、参加申し込みの締め切り日までに、上記の情報を全てご提供いただけない場合には参加できなくなることもありますのでご注意ください。

ツアーで施設に立ち入るために必要となる身分証明証は、以下の通りです。当日、必ずご持参いただけますようお願いいたします。

○運転免許証、パスポート、住民基本台帳カード（写真付）、在留カード、特別永住者証明書、
レセパセ（LAISSEZ-PASSER）のうち 1 点

又は

○住民票（6 ヶ月以内）、健康保険証、年金手帳、共済組合証のいずれか 2 点の組み合わせ

< 予定行程（案） >

12:40 テクノロジーセンター発（バス）

13:30 日本原燃着

13:40 見学開始

16:00 見学終了

日本原燃発（バス）

→三沢空港（16:50 ころ）→三沢駅（17:00 ころ）

【参考（2017 年 7 月 18 日時点）】

三沢空港→羽田空港： 19:05 発（JAL158）

三沢駅 →八戸駅： 17:17 発、18:36 発